

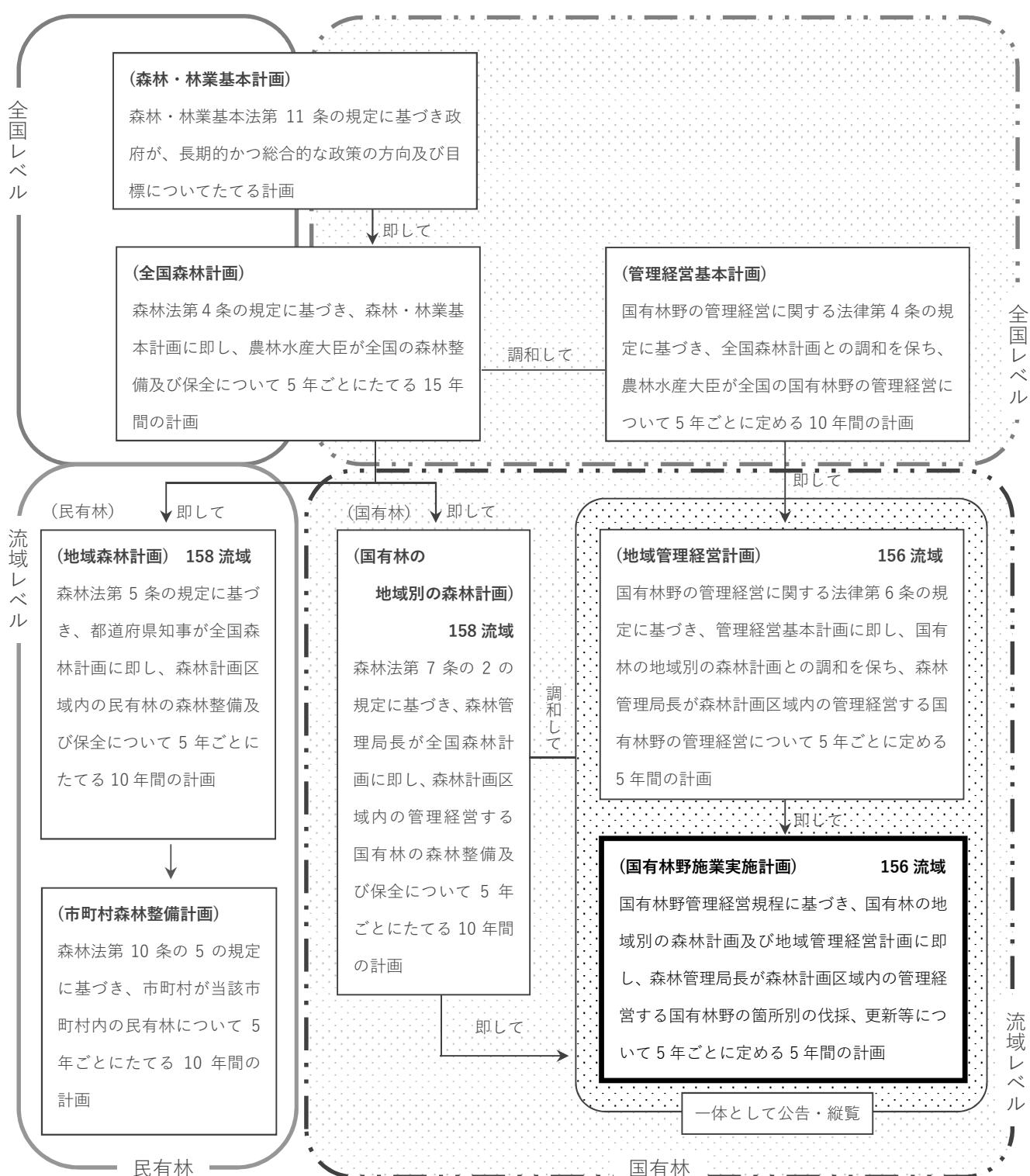
第六次国有林野施業実施計画書（案）
(木曾谷森林計画区)

自 令和4年4月1日
計画期間
至 令和9年3月31日

林野庁中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとに定める5年間の計画である。

本計画の計画期間は令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間である。



目 次

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、 伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
(1) 伐採造林計画簿	1
(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4) 伐採総量	3
(5) 更新総量	7
(6) 保育総量	8
3 林道の整備に関する事項	9
4 治山に関する事項	13
5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
(1) 保護林の名称及び区域	14
(2) 緑の回廊の名称及び区域	17
6 樹木採取区の名称、所在地及び面積	17
7 レクリエーションの森の名称及び区域	18
8 公益的機能維持増進協定の名称及び区域	24
9 その他必要な事項	
(1) 施業指標林、試験地等	25
(2) フィールドの提供	28
(3) 森林共同施業団地	29

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

機能類型の配置については、国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha、年)

施業群	面積			取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
	計画区	木曽森林 管理署	南木曽支署		
施業群	小面積分散伐区	4,377.71	1,334.11	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となることで林齡、林相が異なる多様な森林。	スギ 60 ヒノキ 75 カラマツ 60
	長伐期	16,462.78	14,178.97	主伐を標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齡において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林。	スギ 120 ヒノキ 200 カラマツ 100
	人工林複層伐	3,024.60	1,803.83	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成（階層構造）する森林。	(常時複層) スギ 120[60] 85[60] ヒノキ 200[75] 100[75] カラマツ 100[60] 85[60] (一時单層) スギ 80[60] ヒノキ 95[75] カラマツ 80[60]
	天然林漸伐複層型	2,475.36	2,382.79	天然林において、漸伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹幹層を構成（階層構造）する森林。	N 200 L 180
	木曽五木漸伐複層型	3,689.71	2,951.52		N 250 L 180
	木曽ヒノキ等 漸伐複層型	262.56	262.56		N 250

(単位:ha、年)

施業群	面積			取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
	計画区	木曽森林 管理署	南木曽支署		
施業群	人工林択伐複層型	1,811.78	1,539.74	272.04	人工林又は天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。
	天然林択伐複層型	900.90	871.95	28.95	
	木曽五木択伐複層型	2,077.58	1,684.98	392.60	
	木曽ヒノキ文化財等 択伐複層型	1,258.65	1,258.65		
	実験林	443.22	443.22		
	その他	42.35	37.48	4.87	
合 計		36,827.20	28,749.80	8,077.40	

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 () は回帰年、[]は複層林の初回伐採の伐期齢である。

3 人工林複層伐の常時複層状態となるタイプの二段書きは、後伐の伐期齢を二通り設けたもの。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位:ha)

施業群分類	上限伐採面積	備 考
通常伐期施業	291.80	小面積分散伐区枝打・小面積分散伐区
長伐期施業	411.56	長伐期
複層林施業	530.80	人工林複層伐・人工林長伐期複層伐・人工林漸伐複層型 天然林漸伐複層型
天然林・その他施業	1,043.91	人工林択伐複層型・天然林択伐複層型

(注) 1 上限伐採面積は、計画期間（5年）分の主伐面積である。

2 契約に基づいて主伐を実施する分収林については、上限伐採面積に含まない。

区分	林地					林地以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	(20.43) 2,221	(1,023.19) 105,718	(1,043.62) 107,939				
土砂流出崩壊防備	(20.43) 2,221	(1,023.19) 105,718	(1,043.62) 107,939				
気象害防備							
自然維持タイプ		(568.11) 50,046	(568.11) 50,046				
森林空間利用タイプ		(40.34) 3,557	(40.34) 3,557				
快適環境形成タイプ							
水源涵養タイプ	(512.72) 143,710	(3,690.63) 378,379	(4,203.35) 522,089				
小面積分散伐区	(246.39) 92,643	(646.99) 63,048	(893.38) 155,691				
長伐期	(5.77) 1,350	(2,403.45) 245,217	(2,409.22) 246,567				
人工林複層伐	(84.94) 16,073	(532.39) 58,459	(617.33) 74,532				
人工林抾伐複層型		(103.01) 11,113	(103.01) 11,113				
木曽五木漸伐複層型	(117.15) 24,569	(1.21) 89	(118.36) 24,658				
木曽五木抾伐複層型	(26.80) 4,794		(26.80) 4,794				
木曽ヒノキ文化財等 抾伐複層型	(31.67) 4,281		(31.67) 4,281				
その他		(3.58) 453	(3.58) 453				
合計	(533.15) 145,931	(5,322.27) 537,700	(5,855.42) 683,631	112,379	796,010		796,010
年平均	(106.63) 29,186	(1,064.45) 107,540	(1,171.08) 136,726	22,476	159,202		159,202

(注) ()書きは、伐採面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位: m³)

市町村名	林地		
	主伐	間伐	計
上松町	37,351	71,038	108,389
木曽町	2,447	71,178	73,625
木祖村	10,947	31,089	42,036
王滝村	43,312	110,406	153,718
南木曽町	27,713	175,490	203,203
大桑村	24,161	78,499	102,660

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(付表1:森林管理署別伐採総量 木曽森林管理署)

区分	林地					林地以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	(10.00) 900	(51.48) 6,151	(61.48) 7,051				
土砂流出崩壊防備	(10.00) 900	(51.48) 6,151	(61.48) 7,051				
気象害防備							
自然維持タイプ			(426.13) 34,560	(426.13) 34,560			
森林空間利用タイプ			(32.13) 3,189	(32.13) 3,189			
快適環境形成タイプ							
水源涵養タイプ	(362.05) 93,157	(2,380.18) 239,811	(2,742.23) 332,968				
小面積分散伐区	(117.31) 45,507	(148.04) 9,283	(265.35) 54,790				
長伐期	(5.77) 1,350	(1,875.04) 193,388	(1,880.81) 194,738				
人工林複層伐	(64.94) 12,880	(296.18) 31,289	(361.12) 44,169				
人工林抾伐複層型		(57.26) 5,412	(57.26) 5,412				
木曽五木漸伐複層型	(115.56) 24,345	(1.21) 89	(1.21) 89				
木曽五木抾伐複層型	(26.80) 4,794		(26.80) 4,794				
木曽ヒノキ文化財等 抾伐複層型	(31.67) 4,281		(31.67) 4,281				
その他		(2.45) 350	(2.45) 350				
合計	(372.05) 94,057	(2,889.92) 283,711	(3,261.97) 377,768	71,627	449,395		449,395
年平均	(74.41) 18,811	(577.98) 56,742	(652.39) 75,554	14,325	89,879		89,879

(注) ()書きは、伐採面積である。

(付表1:森林管理署別伐採総量 南木曽支署)

区分	林地					林地以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	(10.43) 1,321	(971.71) 99,567	(982.14) 100,888				
土砂流出崩壊防備	(10.43) 1,321	(971.71) 99,567	(982.14) 100,888				
気象害防備							
自然維持タイプ		(141.98) 15,486	(141.98) 15,486				
森林空間利用タイプ		(8.21) 368	(8.21) 368				
快適環境形成タイプ							
水源涵養タイプ	(150.67) 50,553	(1,310.45) 138,568	(1,461.12) 189,121				
小面積分散伐区	(129.08) 47,136	(498.95) 53,765	(628.03) 100,901				
長伐期		(528.41) 51,829	(528.41) 51,829				
人工林複層伐	(20.00) 3,193	(236.21) 27,170	(256.21) 30,363				
人工林抾伐複層型		(45.75) 5,701	(45.75) 5,701				
木曽五木漸伐複層型	(1.59) 224		(1.21) 89				
木曽五木抾伐複層型							
木曽ヒノキ文化財等 抾伐複層型							
その他		(1.13) 103	(1.13) 103				
合計	(161.10) 51,874	(2,432.35) 253,989	(2,593.45) 305,863	40,752	346,615		346,615
年平均	(32.22) 10,375	(486.47) 50,798	(518.69) 61,173	8,150	69,323		69,323

(注) ()書きは、伐採面積である。

(5) 更新総量

(単位:ha)

区分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	かん 水源涵養 タイプ	合計
人工 造林	単層林造成					198.99	198.99
	複層林造成	1.58				41.25	42.83
	計	1.58				240.24	241.82
天然 更新	天然下種第1類	11.04	240.06			548.05	799.15
	天然下種第2類						
	ぼう芽						
	計	11.04	240.06			548.05	799.15
合計		12.62	240.06			788.29	1,040.97

(付表: 森林管理署別更新総量)

木曽森林管理署

区分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	かん 水源涵養 タイプ	合計
人工 造林	単層林造成					91.38	91.38
	複層林造成					35.25	35.25
	計					126.63	126.63
天然 更新	天然下種第1類	2.07	107.15			491.23	600.45
	天然下種第2類						
	ぼう芽						
	計	2.07	107.15			491.23	600.45
合計		2.07	107.15			617.86	727.08

南木曽支署

区分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	かん 水源涵養 タイプ	合計
人工 造林	単層林造成					107.61	107.61
	複層林造成	1.58				6.00	7.58
	計	1.58				113.61	115.19
天然 更新	天然下種第1類	8.97	132.91			56.82	198.70
	天然下種第2類						
	ぼう芽						
	計	8.97	132.91			56.82	198.70
合計		10.55	132.91			170.43	313.89

(6) 保育総量

(単位:ha)

区分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	かん 水源涵養 タイプ	合計
保 育	下刈	33.00	5.94			796.84	835.78
	つる切	10.54	89.97	0.64		168.51	269.66
	除伐	179.65	549.62	2.09		1,073.65	1,805.01
	枝打						
	計	223.19	645.53	2.73		2,039.00	2,910.45

(付表：森林管理署別保育総量)

木曽森林管理署

区分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	かん 水源涵養 タイプ	合計
保 育	下刈		1.59			423.49	425.08
	つる切	10.54	89.97	0.64		168.51	269.66
	除伐	51.44	324.90	2.09	0.00	775.19	1,153.62
	枝打						
	計	61.98	416.46	2.73		1,367.19	1,848.36

(付表：森林管理署別保育総量)

南木曽支署

区分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	かん 水源涵養 タイプ	合計
保 育	下刈	33.00	4.35			373.35	410.70
	つる切						
	除伐	128.21	224.72			298.46	651.39
	枝打						
	計	161.21	229.07			671.81	1,062.09

基幹・ その他別	開設・ 改良別	する事項 路線名	林班・箇所			延長	備考
基幹	開設	小川殿（野尻向）	南木曾	1046~1049	1箇所	1,500	
		計			1箇所	1,500	
改良	改 良	末川西野（末川）	木曾	586ほか	1箇所	20	
		末川西野（西野）		518ほか	2箇所	20	
		畠福皆沢（畠福）		556ほか	1箇所	20	
		畠福皆沢（皆沢）		586ほか	1箇所	20	
		西野川		828ほか	1箇所	260	
		小川殿		53ほか	2箇所	40	
		灰沢下柿沢		29ほか	1箇所	20	
		分渡沢白川		217ほか	1箇所	20	
		殿灰沢（灰沢）		31ほか	1箇所	20	
		尾頭沢池の沢連絡		1143ほか	1箇所	20	
		塩沢藪原（藪原）		1178ほか	1箇所	20	
		藪原		1198ほか	3箇所	50	
		味噌川枯尾		1128ほか	2箇所	40	
		笹川		1044ほか	2箇所	40	
		塩沢藪原（塩沢）		1214ほか	2箇所	40	
		白川付知		2555ほか	2箇所	40	
		瀬戸川高樽（上）		2093ほか	1箇所	20	
		王滝三浦		2394ほか	2箇所	40	
		瀬戸川高樽（ウグイ川）		2247ほか	1箇所	20	
		氷ヶ瀬小俣		2293ほか	2箇所	50	
		瀬戸川高樽（下）		2009ほか	2箇所	40	
		御岳御厩野		2405ほか	3箇所	60	
		鈴ヶ沢		2405ほか	2箇所	60	
		柿其樽ヶ沢（柿其）	南木曾	23ほか	1箇所	20	
		岩倉		64ほか	1箇所	20	
		浦川上山（与川）		311ほか	1箇所	20	
		南木曾		394ほか	1箇所	20	
		南蘭（南蘭）		652ほか	1箇所	10	
		南蘭（大沢）		660ほか	1箇所	10	
		南蘭（大迷沢）		671ほか	1箇所	10	
		南蘭（男たる）		692ほか	1箇所	10	
		小川殿（野尻向）		1060ほか	1箇所	10	
		小川殿（川戸沢）		1081ほか	1箇所	10	
		阿寺タツガヒゲ（阿寺）		1203ほか	1箇所	20	
		柿其樽ヶ沢（樽ヶ沢）		1213ほか	1箇所	20	
		殿灰沢（殿）		1024ほか	1箇所	10	
		浦川上山（浦川）		1342ほか	1箇所	10	
		越百川		1347ほか	1箇所	10	
		夕森田立（田立）		2135ほか	1箇所	20	
		計			53箇所	1,210	

(単位 : m)

基幹・その他別	開設・改良別	路線名		林班・箇所		延長	備考
その他	開 設	中沢 赤ゾレ 下柿沢中腹(上) 黒石支線・芦島支線 奈良の平 奥峰沢 土浦 クロブチ 西山 中ノ沢 鍋割沢支線	木曽	705~708 2926~2930 140·141 301~305 1017·1018 1217~1219 2732·2736·2737 2125·2126 8~11 602~605 618~619	1箇所 1箇所 1箇所 1箇所 1箇所 1箇所 1箇所 1箇所 1箇所 1箇所	1,750 2,000 440 2,500 2,000 1,700 1,000 800 1,200 1,000 1,000	
		計			11箇所	15,390	
その他	改 良	髭沢 髭沢支線 唐沢 小幸沢 中沢 黒石 赤沢(小川入) 下柿沢 ペロ沢 赤ゾレ 中の沢 肥沢 芦島 芦島支線 黒石支線 池の沢 尾頭沢 奈良の平 ウグイ川支線 土浦支線 下黒沢 助六 土浦 クロブチ 御岳滝越連絡 赤棚 上黒沢 崩沢 水無 一ノ瀬	木曽	524ほか 524 830ほか 760ほか 707ほか 665ほか 146ほか 131ほか 179ほか 224ほか 217ほか 12ほか 316ほか 310ほか 672ほか 1163ほか 1154ほか 1021ほか 2224ほか 2738ほか 2323ほか 2181ほか 2738ほか 2114ほか 2322ほか 2279ほか 2800ほか 2105ほか 2585ほか 2795ほか	2箇所 1箇所 2箇所	40 20 20 20 20 30 20 10 20 20 10 20	

(単位 : m)

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路線名	林 班・箇 所		延 長	備 考
		本谷	2709ほか	1 箇所	20	
		唐谷	2715ほか	1 箇所	20	
		西股	184ほか	1 箇所	20	
		マキガ沢	南木曾	13ほか	1 箇所	10
		忠兵衛沢		21ほか	1 箇所	10
		北沢支線		30ほか	1 箇所	10
		ナメリ沢		48ほか	1 箇所	10
		柿其本谷		49ほか	1 箇所	10
		ワラビ沢		77ほか	1 箇所	10
		ワラビ沢支線		79ほか	1 箇所	10
		新山沢		81ほか	1 箇所	10
		タルガ沢		102ほか	1 箇所	10
		小吹沢		116ほか	1 箇所	10
		丸山沢		303ほか	1 箇所	10
		小タル沢		319ほか	1 箇所	10
		白口沢		346ほか	1 箇所	10
		赤ナギ沢		363ほか	1 箇所	10
		南沢		404ほか	1 箇所	10
		南沢第 2		402ほか	1 箇所	10
		額付本谷		526ほか	1 箇所	10
		床浪		564ほか	1 箇所	10
		富貴畠		589ほか	1 箇所	10
		中ノ沢		609ほか	1 箇所	10
		鍋割沢		616ほか	1 箇所	10
		鍋割沢支線		617ほか	1 箇所	10
		向ヶ原		627ほか	1 箇所	10
		南沢本谷		647ほか	1 箇所	10
		クマ沢		636ほか	1 箇所	10
		ジャヌケ沢		642ほか	1 箇所	10
		賤母本谷		704ほか	1 箇所	10
		野尻向		1075ほか	1 箇所	10
		北沢		1133ほか	1 箇所	10
		樽ヶ沢付知又		1204ほか	1 箇所	10
		西山		1231ほか	1 箇所	10
		薬師		1006ほか	1 箇所	10
		二の沢		1019ほか	1 箇所	10
		木賊沢		1052ほか	1 箇所	10
		穴ヶ沢		1309ほか	1 箇所	10
		福ベ沢		1313ほか	1 箇所	10
		今朝沢		1398ほか	1 箇所	10
		塚野		2103ほか	1 箇所	10
		飯盛		2115ほか	1 箇所	10
		長谷川		2140ほか	1 箇所	10
		計		75 箇所	1,080	

(単位 : m)

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路線名	林班・箇所	延長	備考
合計	開 設		12 箇所	16,890	(木曾) 8箇所 12,190m (南木曾) 4箇所 4,700m
	改 良		128 箇所	2,290	(木曾) 72箇所 1,660m (南木曾) 56箇所 630m

(注) 災害復旧等緊急を要するについては、指定箇所以外においても実行できる。

4 治山に関する事項

(単位:保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計画量
木曾 床並沢・押出沢・池ノ沢・塩沢・正沢川・八沢川・小樽沢・ 黒木ヶ沢・倉本湯川・濁川・白川・鰐川・板橋沢・桟橋沢	保全施設	渓 間 工	24 (木 曾14) (南木曾10)
南木曾 今朝沢・樽ヶ沢・阿寺川上流・長通川・小吹沢・岩倉沢・ 柿其川下流・額付・坪川・長谷川			
木曾 床並沢・押出沢・池ノ沢・正沢川・小樽沢・黒木ヶ沢・倉本湯川・ 樽ヶ沢・白川・鰐川・桟橋沢・川戸沢・灰沢	保全施設	山 腹 工	23 (木 曾13) (南木曾10)
南木曾 阿寺川上流・長通川・丸山沢・上山沢・小吹沢・岩倉沢・ 柿其川下流・額付・坪川・長谷川			
	保全施設	そ の 他	0
木曾谷森林計画区管内の保安林区域内	保 安 林 の 整 備	保 安 林 改 良	1,227.70 (木 曾 536.01) (南木曾 691.69)
合 計	保全施設	渓 間 工	24
		山 腹 工	23
		そ の 他	0
	保 安 林 の 整 備	保 安 林 改 良	1,227.70

(注) 1 位置は、単位流域を表す。

2 保全施設の計画量（箇所）は、単位流域の数を表す。

3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

(単位 : ha)

区 分	名 称	面 積	位 置 (林小班)	特 徹 等	備 考
森 林 生 態 系 保 護 地 域	中央アルプス 木曾駒ヶ岳 保存地区 木曽	4,140.20 1,812.61 (729.36) 358-Ⅱに・ほ・ハ 359-Ⅰろ・は・イ・ロ 359-Ⅱろ・イ (1,083.25) 1412は・に 1418ろ・に・ロ・ハ		日本海型気候から太平洋型気候への推移体である本州中央部に位置し、標高が1,200m～2,900mの範囲にあることから、山地帯から高山帯まで、中央アルプスにおける原生的で多様な天然林を有している。自然環境の維持、動物の保護、遺伝資源の保全、新しい時代における森林に関する技術の発展、学術研究等に資するため、この原生的な森林の生態系を保護する。	
	南木曽 保全利用地区 木曽	2,327.59 (874.87) 358-Ⅱい・ろ・は・イ・ロ 359-Ⅰい 359-Ⅱい (1,452.72) 1411ろ・に 1412い・ろ・イ・ロ 1418い・は・ヘ・イ			
計	1箇所	4,140.20			

区分	名称	面積	位置(林小班)	特徴等	備考											
生物群集 保護林	<p>木曾 保存地区 木曾</p> <table style="margin-left: 100px; border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <tr><td>木曾谷</td><td>: 2,803.47</td></tr> <tr><td>木曾川</td><td>: 463.06</td></tr> <tr><td>計</td><td>: 3,266.53</td></tr> </table> <p>南木曾</p> <table style="margin-left: 100px; border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <tr><td>木曾谷</td><td>: 6,205.54</td></tr> <tr><td>木曾川</td><td>: 920.32</td></tr> <tr><td>計</td><td>: 7,125.66</td></tr> </table> <p>南木曾</p>	木曾谷	: 2,803.47	木曾川	: 463.06	計	: 3,266.53	木曾谷	: 6,205.54	木曾川	: 920.32	計	: 7,125.66	<p>10,392.19 2,803.47 (2,023.09)</p> <p>110~118・125ろ~ほ・イ 2145~2154・2156い・に 2157~2179・2182~2194 2198い・ろ・は・ 2201~2202 2221い~に・へ・イ 2222い・ろ・れ 2223り・れ、2224い・た 2225ほ・ち 1110~1112・1113い~ほ 1114~1123・1133~1143 1162い・163~1164 1165ろ・と・1166ろ 1167ろ・1168は</p> <p>6,205.34 (3,926.10)</p> <p>122い・イ・123 124ろ~へ・125い 126い・ろ・127~130 132い・155~197 2117~2144・2155~2155 2156ろ・は・2180~2181 2195~2197・2199に~り 2200に・ほ・2203~2220 2221ほ・2222は~た・そ 2223い~ち・ぬ~た・そ~ね 2224ろ~よ・れ 2225い~に・へ・と・り~れ 2226~2246</p> <p>(2,279.24)</p> <p>1093い・ろ・に~へ 1094~1095・1097い 1098~1100 1101い・ろ・に・ほ・イ 1102い~に・へ・と・ロ 1103ろ~へ・1104~1109 1113へ・1124~1129 1130い・は~ぬ 1131~1132・1144~1161 1162ろ~へ 1165い・は~へ 1166い・は・に 1167い・は~と 1168い・ろ・に~ぬ 1169~11203 1204い・ろ・に~と・ロ 1205い~に</p>	<p>天然のヒノキ、サワラ等を含む温帯性針葉樹林は、世界的に希少といわれている。</p> <p>現存する温帯性针葉樹林をまとまりと連続性をもって、遺伝資源及び森林生態系を保存するとともに、人工林から天然林への誘導を通じて温帯性针葉樹林の復元を図るため、木曾地方の国有林を生物群集保護林に設定し保護・管理を図る。</p> <p>温帯性针葉樹林への復元を図るために、保護林復元部会を設置し、復元計画を策定した上で適切に保護・管理を行っていく。</p> <p>また、当該保護林の保護・管理及び利用にあたっては、当該保護林を含む木曾悠久の森の取扱い等を定めた木曾悠久の森管理基本計画の考え方を踏襲する。</p>	
木曾谷	: 2,803.47															
木曾川	: 463.06															
計	: 3,266.53															
木曾谷	: 6,205.54															
木曾川	: 920.32															
計	: 7,125.66															

区分	名称	面積	位置(林小班)	特徴等	備考
生物群集 保 護 林	南木曽岳 南木曽	672.87	424~435 513ろ 514い・は 515 516い・ろ・へ 517い・は・ほ 518 519い 520い 521 522い・は 523 524い	南木曽岳山頂周辺には木曽ヒノキ、コウヤマキ、クロベ等の天然林が生育し、その林床にキヨウマルシャクナゲ等が生育するなど、真相風化花崗岩からなる急峻な山岳地系とあいまって木曽谷南部の典型的な生物群集を有する森林の保護・管理を図る。	
	御 岳 木曽	1,159.29	832イ・ロ 863イ~ヤ 2330イ・ロ 2453イ・チ 2688イ 2697イ 2760イ	御岳山の山頂に近い火口カルデラ、火口湖、噴気口など数多くの特徴を持った地形、地質とこれらの地形に起因する植生、希少種の生育地、亜高山帯から高山帯に分布する地域固有の典型的な垂直森林帯等により構成される森林生態系の保護・管理を図る。	
	賤母(新設) 保全利用区域 南木曽	30.29 30.29 (30.29)	702い 707ろ	長野県の南端、木曽川の西岸の標高300m~500mの範囲に位置し、ヒノキ、サワラを主体とする林分に照葉樹が混在し、急峻な斜面に500種以上の植物が繁茂している。太平洋側の温帯林と暖帯林の移行層として、木曽谷の多くの森林と異なる特異な植生を形成していることから、これらを保護する	
計	4箇所	12,254.64			

区分	名称	面積	位置(林小班)	特徴等	備考
希少個体群 保 護 林	皆沢アカマツ 等 遺伝資源	9.26	木曽 588い・ろ・に～へ	形質の良いアカマツ、サワラ、ウラジロモミ等から構成される天然林の保護・管理を図る。	
	寝覚の床サワラ 遺伝資源	57.25	木曽 21い・ろ 22い・ろ	サワラ、木曽ヒノキ、コメツガ等から構成される天然林の保護・管理を図る。	
	瀬戸川 ヒノキ等	2.24	木曽 2025は	阿寺山系の木曽ヒノキを主体とし、コウヤマキ、サワラ、広葉樹等から構成される原生林に近い天然林であり、学術的に価値が高いことから、この個体群の保護・管理を図る。	
	台ヶ峰サワラ	7.20	木曽 261ろ・ち・り	サワラの占有率が高く、木曽谷でも特に優れた典型的なサワラ天然林となっていることからこの個体群の保護・管理を図る。	
	鉢盛山 コメツガ等 遺伝資源	75.07	木曽 1133ち 1136ほ	鉢盛山近辺のコメツガ、トウヒ、ダケカンバ等から構成される天然林の保護・管理を図る。	
	油木沢ヒノキ	48.80	木曽 866い 867い 872い 873い	木曽ヒノキ、サワラ、ミズナラ、カンバ等から構成される針広混交林となっている。人為が加わって生林下典型的な木曽ヒノキ個体群の保護・管理を図る。	
	新高コメツガ 等 遺伝資源	51.13	木曽 818い	コメツガ、シラビソ、オオシラビソ、の成熟相を呈し、チヨウセンゴヨウ、クロベ等の混成する天然林の保護・管理を図る。	
計	7箇所	250.95			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

該当なし

6 樹木採取区の名称、所在地及び面積

該当なし

7 レクリエーションの森の名称及び区域

(単位:ha)

種類	名称	面積	位置(林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然休養林	木曾御岳 〔野外スポーツ〕	831.92	内訳は以下〔ゾーン区分〕のとおり	御岳山の南斜面の中腹部に所在し、春から秋にかけて散策、登山等の自然探勝、冬はスキーなど四季を通した保健休養資源に恵まれ、野外スポーツの場として利用がされている。	天然 生林 林地 以外 育成 複層林 天然 生林 林地 以外 天然 生林 林地 以外	スキー場(王滝村)		
		248.74	木曾 876は・に・877は・879は 880ろ・2444は 2446い～ほ・2447い～た 2448い～か 2449い・ろ・ほ・と～り 2453ろ～へ 2446イ・2447イ～チ 2448イ～へ・2449ニ・ホ 2453ハ・ホ～ト			宿泊施設(王滝村) 歩道(王滝村) 駐車場(王滝村)		
		461.16	木曾 2435い・2439ち 2441ろ・は・2449は 2426い・2427い 2428い・ろ・2429い 2430い・ろ・2435ろ 2436い・2437い 2438い・2439い 2440い・2441い 2444ろ・2445い 2449に 2426イ・2428イ 2429イ・2430イ・ロ			歩道(国・王滝村)		
		122.02	木曾 2437ろ・2438ろ・は 2445ろ・2453い 2438イ・2445イ 2453ロ・ニ・リ・ヌ			園地(王滝村) 宿泊施設(王滝村) 歩道(王滝村)		

種類	名称	面積	位置(林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然休養林	赤沢	760.57	内訳は以下〔ゾーン区分〕のとおり	日本三大美林の木曽ヒノキの存在で「木曽の赤沢」として全国的に有名であり、森林浴の発祥の地としても知られており、2006年には森林セラピー基地として認定されている。				
	〔自然観察教育〕	349.59	木曽 80い・81い・ろ・82い・83い 84い・86い・87い・89い 90い・91い・92い・は・97い 98い・99い・100・119い 102い・ろ・121い	大部分が木曽ヒノキ天然生林であり、学術的のも貴重ある林内には遊歩道が整備されており、学術研究、散策などに海外からの利用者も増加している。	天然 生 林	園地(国・上松町)		
	〔森林スポーツ〕	43.49	木曽 72ろ・73い・ろ・79い～は 80ろ・82ろ・90は・91ろ 70イ・72イ・73イ・ロ 79イ～ニ	大部分が木曽ヒノキ天然生林であり、学術的のも貴重ある林内には遊歩道が整備されており、学術研究、散策などに海外からの利用者も増加している。	育成 複層林 天然 生 林 林 地 以 外	園地(国・上松町) 宿泊施設(上松町) 駐車場(国) 森林鉄道(上松町) 管理施設(国・上松町) 食堂・売店(上松町)		
	〔風景〕	273.82	木曽 81は・83ろ・に・85ろ・に 85ろ・は・ほ・86ろ・に・へ 87ろ・88い・89ろ・に・92ろ 93ろ～に2・94い 95ろ・ほ・へ・95ろ～ほ 81に・84は・ほ・85い・に 86は・ほ・と・87は 88ろ・は・89は・ほ・90ろ 92い・93い・ほ 95い・は・に・96い 97ろ～に・98ろ・は	大部分が木曽ヒノキ天然生林であり、学術的のも貴重ある林内には遊歩道が整備されており、学術研究、散策などに海外からの利用者も増加している。	育成 複層林 天然 生 林	歩道(国・上松町)		
	〔風致探勝〕	93.67	木曽 53に・54ほ・55へ・61は・に 62ろ・に・65は・66ろ・67は 68は・69ろ・70ろ・122ろ 131に・ほ・132ろ・133ろ 134は・135へ・ち～ぬ 137ろ・は・138ろ 144に・へ・145と・り・る 146る・208ぬ・209に・ほ 210ほ 53ほ・54に・へ・55と・り 143に・145ち・ぬ・わ 208い・り・る 53イ・62イ・ロ・66イ・68イ 208イ・209イ～ハ	大部分が木曽ヒノキ天然生林であり、学術的のも貴重ある林内には遊歩道が整備されており、学術研究、散策などに海外からの利用者も増加している。	育成 複層林 天然 生 林 林 地 以 外	園地(国・上松町) 歩道(国・上松町) 車道(国・上松町)		
面積計	2箇所	1,592.49						

種類	名称	面積	位置(林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
森林 スポーツ林	滝越	150.32	木曾 2316い・イ 2317い・イ 2319ろ・は 2320ろ・は・ロ 2342ニ・2343イ 2501ろ・に 2552い～は 2555い～は 2501い・は・ほ 2552イ 2555イ・ロ	滝越地区の森林と溪流とが織りなす自然景観に恵まれ、自然湖でのカヌーやキャンプ等の森林スポーツに適した森林である。	育成 複層林	野営場(王滝村) 乗馬トレッキング(王滝村)		
	開田	128.72	801い・イ 802い～は 803い・は・に 807わ～そ・ね・ら・や 808い～ほ・と～か・た・つ～な 809い～と 810ろ・へ 801ろ・803ろ 808へ・よ・れ・そ 810ち・り 803イ・807イ 808イ・809イ 810ニ	御岳山の東方に位置した高原地帯で自然景観に恵まれたなだらかな地形を有した、森林の中での快適なスポーツ活動に適した地域である。H6年に「木曾御岳山麓森林空間総合利用整備事業」(H.G.P)に指定され、当該地と隣接する開田野外スポーツ地域、開田風致探勝	育成 複層林 天然 生林			
面積計	2箇所	279.04			林地 以外			

種類	名称	面積	位置(林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野外スポーツ	藪原	83.90	木曽 1217い～と 1218い～に・ち・る	民有林部分と一体となつたスキー場をS48年に設定したもの。木曽谷北部に所在し、緩斜面であるなど、初級者から上級者までの様々なコース設置がされている。また、積雪量が多く雪質が良いなど利用者に人気がある。冬季を中心とした野外スポーツの場として適している。	育成 複層林	野営場(王滝村) 乗馬トレッキング(王滝村)		
	開田	307.67	木曽 810は～ほ・と・ぬ 811い～る 814ろ～ほ・と～わ	御岳山の東方に位置した高原地帯で自然景観に恵まれたなだらかな地形を有した、森林の中での快適なスポーツ活動に適した地域である。H6年に「木曽御岳山麓森林空間総合利用整備事業」(H.G.P.)に指定され、当該地と隣接する開田森林スポーツ林、開田風致探勝林は一体的に取り扱われている。	育成 複層林			
	三岳	282.12	木曽 849い・850ぬ 854ろ・に～と・か 857ろ～ほ・ち 858ろ・は・ほ～と 843・805つ・853り 854い・は・ぬ～わ・よ 856い～ち 857い・へ・と・り・る～よ 858い・に・り・863ろ 843イ・ロ 849い～ニ・850イ 853ニ・854イ～ニ 856イ～ホ・875イ～ル	御岳山の東斜面中腹に位置するS57年に設定されたスキー場で、ツガを主体とした天然林が主であり、一部カラマツ人工林が含まれているスキー場の頂上付近からは御岳山や乗鞍、穂高等の眺望に優れ、標高差 550 mという壮大なゲレンデである。	育成 複層林 天然 生林 林地 以 外	スキー場(木曽町) 歩道(木曽町) 園地(国・木曽町)		
面積計	3箇所	673.69						

種類	名称	面積	位置(林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風致探勝林	瀬戸川	51.36	木曽 2025へ・2026・ 2028ほ・ぬ・る 2029ろ・と・2030に 2033は・ほ・2034と 2040ろ・2055は	王滝川支流の瀬戸川の支流である東俣沢に位置し、旧神宮備林として保存されてきた森林である。王滝村と上松町を結ぶ分渡峠に至る沢沿いの歩道周辺については、木曽ヒノキの大径材を主体とした美林と東俣沢の溪流がおりなす、美しい自然景観を呈しておりハイキング等に利用されている。	育成 複層林 天然 生林			
	開田	103.86	木曽 814へ・か・よ・815い～に 816い・ろ・826い～は 827い・は	御岳山の東方に位置した高原地帯で自然景観に恵まれた地域で、スキー場及び民間宿泊施設の背景林として、森林内での野外散策に適した地域である。H6年に「木曽御岳山麓森林空間総合利用整備事業」(H.G.P)に指定され、当該地と隣接する	育成 複層林 天然 生林			
			827ニ	開田森林スポーツ林、開田野外スポーツ地域は一体的に取り扱われている。	林地 以外			
			815イ	木曽ヒノキ、サワラを主とする天然林で、木曽町福島の背景林となっている。近接民有地には代官屋敷跡、郷土館等があり、ここから国有林を結んでいる遊歩道を利用して一帯的な利用がされている。国有林内には城跡や権現滝などがあり地元住民に親しまれ、散策等に利用されている。	育成 複層林 天然 生林 林地 以外	車道(木曽町) 歩道(木曽町) 園地(木曽町) 植物園(国)		
	城山	77.90	木曽 724ろ・725ろ～ほ 726い・に～り	木曽ヒノキ、サワラを主とする天然林で、木曽町福島の背景林となっている。近接民有地には代官屋敷跡、郷土館等があり、ここから国有林を結んでいる遊歩道を利用して一帯的な利用がされている。国有林内には城跡や権現滝などがあり地元住民に親しまれ、散策等に利用されている。	育成 複層林 天然 生林 林地 以外			
			722い・723い・724い 725い・726ろ・は					
			722イ・724イ・725イ					

種類	名称	面積	位置(林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
風致探勝林	阿寺	239.59	南木曾 1069ろ・は・1071は 1073と~り 1083へ・ち・か~れ 1084ろ・1085ち・ぬ 1086は・1090と・1091い 1092に・ほ・1093は・と 1096い・1097ろ・1101は 1102ほ・ち・1204は 1205ほ・1206ほ・1207と 1208ほ・1232は 123い・ろ・1234ろ 1235ほ	阿寺渓谷の周辺林分と渓谷の入り口にあたる飯盛山一帯を区域とし、入口付近には木曽ヒノキ、サワラ、コウヤマキ、ヒメコマツ、コメツガ等の天然林であり、阿寺川沿いの道路沿線は高齢級のヒノキ人工林で渓流と一体となった景観美をなしている。渓谷の上部には、野営場、遊歩道等が整備され散策、ハイキング等利用者が多い。	育成 複層林	野営場(大桑村) 歩道(大桑村) 駐車場(大桑村) 施設敷(大桑村)		
			1069い・1070い・1071ろ 1085り・1205へ・1206へ 1208に・1238へ・1239ろ 1240へ・と・1242い 1243い・ろ・1244い 1245い		天然 生林			
			1073イ・1102イ 1204イ・ハ		天然 生林			
大平峰		60.48	南木曾 595ろ・に・ほ 594は・595い・は・へ 596い	県道飯田南木曾線がほぼ中央に位置し、民有地にある県指定「大平県民の森」に隣接した森林である。林内は歩道、園地等の整備が進み、民有地と一緒にになった利用がされている。	育成 複層林	歩道(長野県) 東屋(長野県)		
			595イ~ニ		天然 生林			
田立の滝		91.72	南木曾 2116-IIろ~へ・ち・り 2126-IIい・と~り 2116-IIい・と・ぬ 2117い・ろ・2118ろ 2125ろ・2126-Iい・ろ 2126-IIろ~ほ	阿寺山地の南端にあり、大小10個からなる滝とその周辺の自然景观に優れた森林地帯であり、散策・ハイキング等の利用者が多い。レク森上流部には、高層湿原もあり、この周辺は天然公園と呼ばれている。下部の民有地は、キャンプ場等森林レクリエーション施設が整備され、ここを拠点に利用が進んでいる。	育成 複層林	車道(木曽町) 歩道(木曽町) 園地(木曽町) 植物園(国)		
			2116-IIイ 2126-Iイ		林地 以外			
面積計	6箇所	624.91						

(参考) レクリエーションの森以外の森林利用タイプの施業方法

施業 方法等	位置（林小班）	面積
育成 複層林	木曽 801は～ほ・803ほ・へ・804い～は・805ろ～へ 807い～は・ほ～と・り～る・つ・な・む・う・ま～こ 814い・816は～わ・825ろ～に・828い・は・ち・り 829ほ・839ほ・843ろ～に・へ・と・ぬ・る	
天然生林	木曽 805い・806ち・は・807に・ち・の・お・く・817い・ろ 825い・828ろ・に・ほ・と・ぬ・る・わ・839へ・と 843い・ち・り・849ろ・854ち・り・857り・858へ	
林地以外	木曽 804イ・816イ・825イ・843ハ・858イ・ロ	

8 公益的機能維持増進協定の名称及び区域等

該当なし

9 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位:ha)

種類	名称	設定年	面積	位置(林小班)	備考
施業指標林	ポドゾル地帯におけるヒノキ天然林更新	S59年度	2.76	木曽 2201ろ	天然林施業体系の確立
試験地	三浦実験林	S41年度	418.76	木曽 2626~2637・2639~2641	ポドゾル地帯におけるヒノキ天然林の更新施業体系の確立
	上松ヒノキ天然林の漸伐施業試験	S47年度	7.59	木曽 157い1~い3	漸伐施業におけるポドゾル地帯の天然生稚幼樹の発芽試験
	赤沢ヒノキ施業試験	S58年度	11.84	木曽 100は1~は3	後継ヒノキ稚樹の育成
	助六実験林	H元年度	89.18	木曽 2156いに・2157い・へ 2179い~は	ポドゾル地帯におけるヒノキ天然林の更新施業体系の確立
	カンバ天然更新試験	H4年度	1.45	木曽 2670に	カンバ天然更新試験
	カラマツ産地試験新高試験	S33年度	2.12	木曽 804ろ	(森林総研) 異郷土樹種の導入
	成長予測の固定標準地	S25年度	0.32	木曽 2019は	(森林総研) 林分成長推定予測
	成長予測の固定標準地	S25年度	5.00	木曽 101ろ	(森林総研) 林分成長推定予測
	王滝ヒノキA種収穫試験	S29年度	0.69	木曽 2302は	(森林総研) ヒノキ人工林の構成
	蘭ヒノキA種収穫試験	S29年度	0.83	木曽 611ろ	(森林総研) ヒノキ人工林の構成
	赤沢ヒノキ人工林収穫試験	S38年度	1.20	木曽 78わ	(森林総研) ヒノキ人工林の構成と成長

(単位 : ha)

種類	名称	設定年	面積	位置(林小班)	備考
次代検定林	次代閑長2号一般	S39年度	0.84	木曾 95ヘ	ヒノキ
	閑長16号一般	S49年度	2.03	南木曾 624に	ヒノキ
	閑長18号一般	S49年度	1.23	木曾 801は・に・ほ	カラマツ
	閑長20号一般	S50年度	1.32	南木曾 591は・と・る	ヒノキ
	閑長40号一般	H元年度	0.26	南木曾 624に	ヒノキ
	閑長47号一般	H10年度	1.72	木曾 197ほ	ヒノキ
	閑長36号一般	H17年度	0.64	南木曾 1232る	スギ
	閑長49号一般	H22年度	0.31	南木曾 104ヘ	ヒノキ
	閑長50号一般	H22年度	0.37	南木曾 104ほ	スギ
試植検定林	試植閑長シ号	S44年度	0.40	木曾 2392ヘ	ヒノキ
遺伝子検定林	長遺6号	S44年度	3.25	木曾 2516ぬ	ヒノキ
	長遺11号	S44年度	2.45	木曾 2392ほ	
精英樹保護林	上松ヒノキ1号	S32年度	0.10	木曾 74ろ	
	上松ヒノキ2号	S32年度	0.10	木曾 136ほ	
	上松ヒノキ3号	S32年度	0.10	木曾 40ヘ	
	上松ヒノキ4号	S32年度	0.10	木曾 140は	
	上松ヒノキ5号	S32年度	0.10	木曾 40ほ	
	上松ヒノキ6号	S32年度	0.10	木曾 306ろ	
	上松ヒノキ7号	S32年度	0.10	木曾 302に	
	上松ヒノキ9号	S32年度	0.10	木曾 312ど	
	上松ヒノキ10号	S32年度	0.31	木曾 316ろ	
	福島アカマツ101号	S32年度	0.10	木曾 585ヘ	
	福島アカマツ103号・108号	S32年度	0.25	木曾 585ほ	
	福島アカマツ104号・105号	S32年度	0.17	木曾 585に	
	福島アカマツ106号	S32年度	0.09	木曾 841ど	
	福島アカマツ107号	S32年度	0.09	木曾 841ぬ	
	福島カラマツ101号・102号	S32年度	0.20	木曾 803ほ	
	福島カラマツ103号	S32年度	0.10	木曾 803ヘ	

(単位 : ha)

種類	名称	設定年	面積	位置(林小班)	備考
精英樹保護林	王滝ヒノキ101号	S33年度	0.10	木曾	2034に
	王滝ヒノキ102号	S33年度	0.17	木曾	2033に
	王滝ヒノキ103号	S33年度	0.30	木曾	2032は
	王滝サワラ101号	S33年度	0.10	木曾	2039に
	王滝サワラ101号	S33年度	0.10	木曾	2019に
	野尻ヒノキ1号	S32年度	0.10	南木曾	1037り
	野尻ヒノキ3号	S32年度	0.10	南木曾	1086ろ
	野尻ヒノキ5号	S32年度	0.10	南木曾	1085ろ
	野尻ヒノキ6号	S32年度	0.10	南木曾	1085は
	野尻ヒノキ7号	S32年度	0.10	南木曾	1085に
	妻籠ヒノキ2号	S34年度	0.07	南木曾	634は
	妻籠ヒノキ3号	S34年度	0.10	南木曾	612ろ
特別母樹林	特45-2	S45年度	9.84	木曾	866い ヒノキ
		S45年度	16.45	木曾	867い ヒノキ
		S45年度	10.11	木曾	872い ヒノキ
		S45年度	11.89	木曾	873い ヒノキ
展示林	小川入ヒノキ	S52年度	1.00	木曾	2930へ・ち
	人工林ヒノキ優良林分	S56年度	0.20	南木曾	1083へ
	人工林ヒノキ高齢級優良林分	H4年度	0.84	南木曾	1253は
森林施業モデル林	育成複層林施業	H10年度	12.80	南木曾	9い 水源涵養タイプ
	育成複層林施業	H10年度	7.33	南木曾	591に外 水源涵養タイプ
	育成複層林施業	H10年度	3.74	南木曾	393い 水源涵養タイプ
	育成複層林施業	H11年度	2.84	木曾	56ほ 水源涵養タイプ
	育成複層林施業	H11年度	5.42	木曾	1079は 水源涵養タイプ
	育成複層林施業	H11年度	9.46	南木曾	1207に 水源涵養タイプ
	育成複層林施業(荒廃地の復旧)	H11年度	19.50	木曾	348イ外 水源涵養タイプ

(2) フィールドの提供

ア ふれあいの森

(単位：ha)

名 称	面 積	対象地 (林小班)	設定の目的等
大樹の森・赤沢 (平成29年度設定)	3.28	木曽 78は	協定相手方：NPO法人地球緑化センター 協定期間：令和8年度末まで （令和3年度末更新） 目的：森林整備作業、森林環境教育等に取り組むNPO・ボランティア団体等の支援及び活動拠点として整備する。

イ 木の文化を支える森

(単位：ha)

名 称	面 積	対象地 (林小班)	設定の目的等
ひわだ 檜皮の森 (平成14年度設定)	71.36	南木曽 702ろ・703い 706い・707い	協定相手方：公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会 協定期間：令和8年度末まで （令和3年度末更新） 目的：歴史的建造物の屋根葺き材料としての檜皮を提供するための森林整備・保全活動を行う。
南木曽伝統工芸の森 (平成18年度設定)	3.16	南木曽 609い	協定相手方：南木曽伝統工芸の森育成協議会 協定期間：令和8年度末まで （令和3年度末更新） 目的：南木曽町の伝統芸能品の口クロ細工等に充当する広葉樹を育成するための森林整備・保護活動を行う。

ウ 多様な活動の森

(単位：ha)

名 称	面 積	対象地 (林小班)	設定の目的等
郷土の森 (平成29年度設定)	80.81	木曽 1030い・ろ 1031い	協定相手方：木祖村 協定期間：令和8年度末まで （令和3年度末更新） 目的：遊歩道等の保全、整備活動、体験林業、自然観察等の森林保全活動を行う。
瀬戸川千年の森 (平成29年度設定)	630.76	木曽 2025へ・と・り 2026~2046 2926・2927	協定相手方：王滝村 協定期間：令和8年度末まで （令和3年度末更新） 目的：遊歩道等の保全、整備活動、体験林業、自然観察等の森林保全活動を行う。

(3) 森林共同施業団地

(単位 : ha)

(木曽森林管理署)

名 称	対象地（林班）		面 積	協定の概要
上 松 町 団 地	民	1~63	5,267	路網の整備・施業の連携、中間土場の整備、民国連携した林産物の安定供給システム等。
	国	1~225・238~256 301~360	10,822	
合 計			16,089	
上 松 町 団 地	民	1~175 1001~1043 3001~3157	21,937	路網の整備・施業の連携、中間土場の整備、民国連携した林産物の安定供給システム等。
	国	257~273・601~625 630~673・704~715 718~760・833~844 846~892	7,661	
合 計			29,598	
木 曽 町 開 田 団 地	民	2001~2110	8,302	路網の整備・施業の連携、中間土場の整備、民国連携した林産物の安定供給システム等。
	国	501~586 801~832	5,274	
合 計			13,576	
木 祖 村 団 地	民	1~91	4,974	路網の整備・施業の連携、中間土場の整備、民国連携した林産物の安定供給システム等。
	国	1001~1074 1077~1214 1217~1221	7,893	
合 計			12,867	
王 滝 村 団 地	民	1~175	3,865	路網の整備・施業の連携、中間土場の整備、民国連携した林産物の安定供給システム等。
	国	2001~2293 2301~2460 2501~2590 2592~2654 2656~2727 2729~2788 2790~2823 2926~2937	26,009	
合 計			29,874	

(注) 対象地及び面積 () 書きは官行造林地で外書き

(単位 : ha)

(南木曾支署)

名 称	対象地（林班）		面 積	協定の概要
南 木 曽 町 団 地	民	1 ~122	6,037	路網の整備・施業の連携、中間土場の整備、民国連携した林産物の安定供給システム等。
	国	1 ~119・301~464 501~693・702~709 2101~2147 (2 ~ 7)	14,197 (111)	
合 計			20,234 (111)	
大 桑 村 団 地	民	1 ~66	4,891	路網の整備・施業の連携、中間土場の整備、民国連携した林産物の安定供給システム等。
	国	1001~1247 1249~1256 1301~1443	17,586	
合 計			22,477	

(注) 対象地及び面積 () 書きは官行造林地で外書き

その他附属資料

(1) 国有林野の現況

① 担当区別の区域及び面積	1
② 保安林、自然公園等の面積	2
(2) 機能類型別の国有林野の現況	3
(3) 林道等の現況	4
(4) 収穫予想表	4
(5) 地元施設等の現況	4

(1) 国有林野の現況

① 担当区別の区域及び面積

(単位:ha)

担当区	関係市町村	要存置林野		不要存置 林野面積	官行造林地 面積
		面 積	関係林班		
木曾森林管理署	南 小 川	上 松 町	2,703.12	53~145	
	北 小 川	上 松 町	2,395.21	146~225	
	駒 ケ 岳	上 松 町	5,723.19	1~52,238~256,301~360	
	木曾福島	木 曾 町	4,794.97	257~265,601~625,630~673, 704~715,718~760	
	三 岳	木 曾 町	2,866.14	266~273,833~844,846~892	
	開 田	木 曾 町	5,273.51	501~586,801~832	
	藪 原	木 祖 村	5,084.45	1096~1214,1221	
	笛 川	木 祖 村	2,808.33	1001~1074,1077~1095,1217~1220	
	瀬 戸 川	王 滝 村	5,951.04	2001~2081,2364~2451,2453~2460, 2832,八,八~チ,ヌ,2926~2937	
	南 滝 越	王 滝 村	5,437.53	2264~2283,2501~2590,2592~2654, 2823弔	
	氷 ケ 瀬	王 滝 村	6,053.33	2082~2263,2284~2293,2301~2318	
	北 滝 越	王 滝 村	8,567.39	2319~2363,2452,2656~2727, 2729~2788,2790~2822,2823弔	
計		57,658.21			
南木曾支署	与 川	南木曾町	3,524.00	301~435,4041	55.45
	柿 其	南木曾町	5,375.72	1~119,436~463,464弔,2101~2147	
	広 瀬	南木曾町	2,509.58	529~624,709弔	17.06
	蘭	南木曾町	2,779.68	501~528,625~693,702~708, 709,八~ホ	38.33
	阿 寺	南木曾町	7.76	1247ほ~ち	
		大 桑 村	5,353.79	1054~1246,1247い~に,リ,1249~1256	
	小 計		5,361.55		
	須 原	大 桑 村	12,231.91	1001~1053,1301~1433	
計		31,782.44			
合 計		89,440.65			110.84

区分		森林管理署別				
		木曾		南木曾支		合計
保安林	水源かん養保安林		46,330.11		28,128.96	74,459.07
	土砂流出防備保安林		6,849.39		3,239.27	10,088.66
	土砂崩壊防備保安林		19.12			19.12
	飛砂防備保安林					
	防風保安林					
	水害防備保安林					
	潮害防備保安林					
	干害防備保安林		124.89			124.89
	防雪保安林					
	防霧保安林					
	なだれ防止保安林					
	落石防止保安林					
	防火保安林					
	魚つき保安林					
	航行目標保安林					
	保健保安林	(2,408.72)	30.65	(30.11)	(2,438.83)	30.65
	風致保安林		157.88			157.88
	計	(2,408.72)	53,512.04	(30.11)	31,368.23	(2,438.83)
						84,880.27
保安施設地区						
砂防指定地		(6.31)		(15.48)	0.01	(21.79)
制限林	特別保護地区					
	第一種特別地域					
	第二種特別地域					
	第三種特別地域					
	地種区分未定特別地域					
	計					
公園	特別保護地区					
	第一種特別地域	(696.13)	0.30	(852.25)	0.05	(1,548.38)
	第二種特別地域	(964.67)	0.21	(1,603.85)	0.02	(2,568.52)
	第三種特別地域	(3,167.78)	1.40	(4,936.73)	15.49	(8,104.51)
	地種区分未定特別地域					
	計	(4,828.58)	1.91	(7,392.83)	15.56	(12,221.41)
都道府県立自然公園	第一種特別地域	(1,203.51)	3.38		(1,203.51)	3.38
	第二種特別地域	(1,452.27)	35.30		(1,452.27)	35.30
	第三種特別地域					
	地種区分未定特別地域					
	計	(2,655.78)	38.68		(2,655.78)	38.68
原生自然環境保全地域						
自然環境保全地域特別地区						
都道府県自然環境保全地域特別地区				(156.19)		(156.19)
鳥獣保護区特別保護地区						
都市緑地保全法による緑地保全地区						
都市計画法による風致地区						
林業種苗法による特別母樹林		(48.80)				(48.80)
史跡名勝天然記念物						
種の保存法による管理地区						
その他の制限林				(621.26)	0.90	(621.26)
制限林計		(9,948.19)	53,552.63	(8,215.87)	31,384.70	(18,164.06)
						84,937.33
普通林	国立公園普通地区					
	国定公園普通地区			(435.54)	7.27	(435.54)
	都道府県立自然公園普通地区	(11,329.72)	298.13		(11,329.72)	298.13
	自然環境保全地域普通地区					
	都道府県自然環境保全地域普通地区					
	鳥獣保護区普通地区	(9,740.04)	220.81	(118.03)	4.39	(9,858.07)
	種の保存法による監視地区					
	その他の法指定地域（普通林）					
普通林計		(21,069.76)	518.94	(553.57)	11.66	(21,623.33)
法指定地域合計		(31,017.95)	54,071.57	(8,769.44)	31,396.36	(39,787.39)
						85,467.93

(2) 機能類型別の国有林野の現況

(単位：面積 ha、材積 m³)

森林計画区：068 木曽谷		山地災害防止タイプ										森林空間利用タイプ				合 計			
機能類型 林 種	面積	土砂流出崩壊防備		気象害防備		面積		材積		快適環境形成タイプ		水源かん養タイプ		自然維持タイプ	面積	材積	面積	材積	
		面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積						
人 工 林	6,096.84	1,590.537		6,096.84	1,590.537	74.74	18,500	74.74	18,500	22,960.60	5,368.123	4,846.82	943.352	1,020.09	269.555	34,924.35	8,171.567		
育成单層林	74.74	18,500								808.25	198,991	110.91	22,601				993.90	240,092	
育成单層林	6,171.58	1,609.037		6,171.58	1,609.037			23,768.85	5,567.114	4,957.73	965.953	1,020.09	269.555	35,918.25	8,411.659				
育成複層林	235.26	60,206				235.26	60,206			860.31	172,166	258.96	32,106	7.31			3.80	794	
育成複層林	15,918.80	4,094,689		15,918.80	4,094,689			10,853.24	3,197,377	14,134.15	3,343,704	2,296.15	695,073	43,202.34	11,330,843			265,729	
天然林	16,154.06	4,154,895		16,154.06	4,154,895			11,717.35	3,370,337	14,393.11	3,375,810	2,303.46	696,324	44,567.98	11,597,366				
無立木地										174.79	819	16.11				190.90	819		
竹 林																			
林地計	22,325.64	5,763,932				22,325.64	5,763,932			35,660.99	8,938,270	19,366.95	4,341,763	3,323.55	965,879	80,677.13	20,009,844		
林地以外	2,414.97					2,414.97				1,694.96		4,234.33		419.26		8,763.52			
合 計	24,740.61	5,763,932				24,740.61	5,763,932			37,355.95	8,938,270	23,601.28	4,341,763	3,742.81	965,879	89,440.65	20,009,844		

(3) 林道等の現況

(単位：km)

区分	林道			作業道
	自動車道	軽車道	合計	
延長	966	0	966	1

(4) 収穫予想表

別表のとおり。

(5) 地元施設等の現況

(単位：ha)

区分		面 積		
		合計	木曾	南木曾
分 収 造 林 契 約 に 基 づ く 分 収 林		318.54	273.20	45.34
分 収 育 林 契 約 に 基 づ く 分 収 林		332.94	104.74	228.20
共 用 林 野	普 通	8,785.27	5,763.58	3,021.69
	薪 炭			
	放 牧			
	合 計	8,785.27	5,763.58	3,021.69
貸 地	植 樹 用 地			
	農 耕 用 地			
	鉱 業 用 地	0.99	0.99	
	道 路 用 地	74.81	58.13	16.68
	水 路 用 地	2.89	1.91	0.98
	電 気 事 業 用 地	82.61	74.16	8.45
	温 鉱 泉 用 地			
	学 校 用 地			
	採 草 放 牧 地	63.83	49.99	13.84
	建 物 用 地	1.35	1.10	0.25
	そ の 他 貸 地	202.68	186.91	15.77
	合 計	429.16	373.19	55.97

別表

収穫予想表

スギ	1
ヒノキ	2
カラマツ	6
アカマツ	8
その他針葉樹	9
広葉樹	10

収穫予想表

適用コード：003

樹種：スギ

施業群：指定なし

適用森林計画区：中部山岳（奈川、奈良井、贊川）、木曽谷

齢級	主林木					副林木		主副林木合計					
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	幹材積 m3	幹材積累計 m3	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	総収穫量 m3	成長率 %
I													
II													
III	9.7	8.3	1,865	61		8.8	4.1	9	9	70	10.8	4.7	70
IV	12.8	10.6	1,505	105		10.6	5.3	10	19	115	12.8	5.8	124
V	15.7	12.8	1,260	158		10.4	6.3	11	30	169	13.0	6.8	188
VI	18.4	14.6	1,085	210		10.2	7.0	13	43	223	12.4	7.4	253
VII	20.6	16.3	975	261		8.8	7.5	11	54	272	11.0	7.8	315
VIII	22.6	17.6	890	305		7.8	7.6	11	65	316	9.8	7.9	370
IX	24.3	18.8	820	344		7.0	7.6	10	75	354	9.0	7.9	419
X	25.8	19.8	765	379		5.8	7.6	10	85	389	7.4	7.8	464
X I	27.0	20.6	720	408		4.6	7.4	8	93	416	6.0	7.6	501
X II	28.0	21.3	690	431		3.6	7.2	7	100	438	4.8	7.3	531
X III	29.0	22.0		449		3.0	6.9	6	106	455	4.0	7.0	555
X IV	30.0	23.0		464		2.2	6.6	5	111	469	3.0	6.7	575
X V	31.0	23.0		475		1.6	6.3	4	115	479	2.2	6.4	590
X VI	31.0	23.0		483		1.2	6.0	3	118	486	1.4	6.1	601
X VII	32.0	24.0		489		1.0	5.8	1	119	490	1.0	5.8	608
X VIII	32.0	24.0		494		0.6	5.5		119	494	0.6	5.5	613
X IX	32.0	24.0		497		0.4	5.2		119	497	0.4	5.2	616
X X	33.0	25.0		499		0.4	5.0		119	499	0.4	5.0	618
X X I	33.0	25.0		501		0.6	4.8		119	501	0.4	4.8	620
X X II	33.0	25.0		504			4.6		75	504	0.6	4.6	579
X X III	33.0	25.0		504			4.4		75	504		4.4	579
X X IV	33.0	25.0		504			4.2		75	504		4.2	579
X X V	33.0	25.0		504			4.0		75	504		4.0	579
X X VI	33.0	25.0		504			3.9		75	504		3.9	579
X X VII	33.0	25.0		504			3.7		75	504		3.7	579
X X VIII	33.0	25.0		504			3.6		75	504		3.6	579
X X IX	33.0	25.0		504			3.5		75	504		3.5	579
X X X	33.0	25.0		504			3.4		75	504		3.4	579

(注) 二重線以降の齢級については、収穫予想表から推定した数値である。

収穫予想表

適用コード：012

樹種：ヒノキ

施業群：（長伐期、人復）以外

適用森林計画区：中部山岳、木曽谷

齢級	主 林 木					副 林 木		主 副 林 木 合 計					
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	幹材積 m3	幹材積累計 m3	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	総収穫量 m3	成長率 %
I													
II					29		5	5					
III	6.6	4.1	2,878	43	3.4	2.9	6	11	49	5.4	3.3	54	10.2
IV	9.2	5.8	2,145	60	4.2	3.0	10	21	70	6.0	3.5	81	8.4
V	11.1	7.3	1,730	81	4.6	3.2	9	30	90	6.2	3.6	111	6.7
VI	12.8	8.5	1,486	104	4.6	3.5	8	38	112	6.2	3.7	142	5.4
VII	14.4	9.6	1,318	127	4.4	3.6	8	46	135	5.8	3.9	173	4.2
VIII	15.8	10.5	1,192	149	4.4	3.7	7	53	156	5.6	3.9	202	3.5
IX	17.0	11.4	1,100	171	4.4	3.8	6	59	177	5.4	3.9	230	3.0
X	18.1	12.3	1,036	193	4.2	3.9	5	64	198	5.2	4.0	257	2.6
X I	19.0	13.0	996	214	4.0	3.9	5	69	219	5.0	4.0	283	2.2
X II	19.9	13.7	960	234	4.0	3.9	5	74	239	4.8	4.0	308	2.0
X III	20.7	14.3	927	254	3.8	3.9	4	78	258	4.6	4.0	332	1.7
X IV	21.5	14.8	896	273	3.6	3.9	4	82	277	4.4	4.0	355	1.6
X V	22.2	15.3	867	291	3.0	3.9	4	86	295	3.8	3.9	377	1.3
X VI	22.9	15.8		306	2.8	3.8	4	90	310	3.4	3.9	396	1.1
X VII	23.6	16.2		320	2.4	3.8	3	93	323	3.0	3.8	413	0.9
X VIII	24.2	16.6		332	2.2	3.7	3	96	335	2.8	3.7	428	0.8
X IX	24.8	17.0		343	2.0	3.6	3	99	346	2.6	3.6	442	0.7
X X	25.4	17.3		353	1.8	3.5	3	102	356	2.2	3.6	455	0.6
X X I	25.9	17.6		362	1.4	3.4	2	104	364	1.8	3.5	466	0.5
X X II	26.4	17.8		369	1.4	3.4	2	106	371	1.8	3.4	475	0.5
X X III	26.9	18.0		376	1.2	3.3	2	108	378	1.4	3.3	484	0.4
X X IV	27.3	18.2		382	1.0	3.2	1	109	383	1.0	3.2	491	0.3
X X V	27.7	18.4		387	0.8	3.1		109	387	0.8	3.1	496	0.2
X X VI	28.1	18.6		391	0.8	3.0		109	391	0.8	3.0	500	0.2
X X VII	28.5	18.8		395	0.8	2.9		109	395	0.8	2.9	504	0.2
X X VIII	28.8	19.0		399	0.4	2.9		109	399	0.4	2.9	508	0.1
X X IX	29.1	19.1		401	0.4	2.8		109	401	0.4	2.8	510	0.1
X X X	29.4	19.2		403		2.7		109	403		2.7	512	

(注) 二重線以降の齢級については、収穫予想表から推定した数値である。

収穫予想表

適用コード：013

樹種：ヒノキ

施業群：長伐期、人復《初回複層伐 未実施》

適用森林計画区：中部山岳、木曽谷

齡級	主 林 木					副 林 木		主 副 林 木 合 計					
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	幹材積 m3	幹材積累計 m3	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	総収穫量 m3	成長率 %
I													
II													
III				35			2.3		35		2.3	35	14.2
IV	8.1	5.5	3,554	63		5.6	3.2	5	5	68	3.4	68	9.0
V	10.1	6.9	2,694	90		5.4	3.6	7	12	97	3.9	102	7.1
VI	11.7	8.0	2,240	118		5.6	3.9	9	21	127	4.2	139	5.9
VII	13.5	9.2	1,871	146		5.6	4.2	11	32	157	4.5	178	5.2
VIII	15.2	10.4	1,612	176		6.0	4.4	12	44	188	4.7	220	4.5
IX	16.7	11.5	1,433	206		6.0	4.6	13	57	219	4.9	263	3.9
X	18.1	12.4	1,295	236		6.0	4.7	13	70	249	5.0	306	3.5
X I	19.5	13.4	1,179	266		6.0	4.8	14	84	280	5.1	350	3.2
X II	20.9	14.3	1,081	296		6.0	4.9	15	99	311	5.2	395	2.9
X III	22.3	15.2	997	325		5.8	5.0	16	115	341	5.2	440	2.6
X IV	23.5	16.0	933	353		5.6	5.0	16	131	369	5.3	484	2.3
X V	24.7	16.8	876	380		5.4	5.1	16	147	396	5.3	527	2.1
X VI	25.9	17.4	826	405		5.0	5.1	17	164	422	5.3	569	1.9
X VII	27.0	18.0	784	430		5.0	5.1	16	180	446	5.2	610	1.8
X VIII	28.1	18.7	745	453		4.6	5.0	16	196	469	5.2	649	1.6
X IX	29.2	19.2	710	475		4.4	5.0	16	212	491	5.2	687	1.5
X X	30.2	19.7	681	495		4.0	5.0	16	228	511	5.1	723	1.4
X X I	31.2	20.3	654	515		3.8	4.9	16	244	531	5.1	759	1.3
X X II	32.2	20.7	628	534		3.4	4.9	15	259	549	5.0	793	1.2
X X III	33.1	21.2	607	551		3.0	4.8	15	274	566	4.9	825	1.1
X X IV	34.0	21.6	587	568		2.8	4.7	15	289	583	4.9	857	0.9
X X V	34.7	22.0	572	583		3.0	4.7	12	301	595	4.8	884	0.8
X X VI	35.5	22.4	556	597		2.8	4.6	10	311	607	4.7	908	0.7
X X VII	36.2	22.8	542	612		3.0	4.5	5	316	617	4.6	928	0.4
X X VIII	36.9	23.1	529	624		2.4	4.5	1	317	625	4.5	941	0.4
X X IX	37.5	23.5	519	636		2.4	4.4		317	636	4.4	953	0.3
X X X	38.0	23.9	510	647		2.2	4.3		317	647	4.3	964	

収穫予想表

適用コード：016

樹種：ヒノキ

施業群：人複《下層木》

適用森林計画区：中部山岳、木曽谷

齡級	主林木					副林木		主副林木合計					
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	幹材積 m3	幹材積累計 m3	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	総収穫量 m3	成長率 %
I													
II													
III	4.3	3.5	2,160										
IV	6.0	4.7	1,913	25			1.3	1	1	26	1.3	26	10.9
V	7.6	5.9	1,741	40			1.6	2	3	42	1.7	43	7.7
VI	9.1	7.0	1,612	55			1.8	3	6	58	1.9	61	6.7
VII	10.5	8.0	1,511	71			2.0	5	11	76	2.2	82	6.0
VIII	11.8	9.0	1,428	88			2.2	7	18	95	2.4	106	5.3
IX	13.0	10.0	1,359	107			2.4	7	25	114	2.5	132	4.4
X	14.1	10.9	1,300	128			2.6	5	30	133	2.7	158	3.9
X I	15.2	11.7	1,248	151			2.7	4	34	155	2.8	185	3.5
X II	16.1	12.5	1,203	176			2.9	3	37	179	3.0	213	3.0
X III	17.0	13.3	1,163	202			3.1	2	39	204	3.1	241	2.5
X IV	17.8	14.0	1,128	227			3.2	2	41	229	3.3	268	1.9
X V	18.6	14.7	1,095	249			3.3	1	42	250	3.3	291	1.6
X VI	19.4	15.3	1,066	268			3.4	1	43	269	3.4	311	1.2
X VII	20.1	15.9	1,039	283			3.3	1	44	284	3.3	327	
X VIII	20.8	16.4	1,014	296			3.3	1	45	297	3.3	341	
X IX													
X X													
X X I													
X X II													
X X III													
X X IV													
X X V													
X X VI													
X X VII													
X X VIII													
X X IX													
X X X													

収穫予想表

適用コード：014

樹種：ヒノキ

施業群：人複《上層木》

適用森林計画区：中部山岳、木曽谷

齡級	主林木					副林木		主副林木合計					
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	幹材積 m3	幹材積累計 m3	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	総収穫量 m3	成長率 %
I													
II													
III													
IV													
V													
VI													
VII													
VIII													
IX													
X													
X I													
X II													
X III													
X IV													
X V	33.0	17.0		140		1.9			140		1.9	140	1.7
X VI	35.0	17.0		138		1.7	14	14	152		1.9	152	1.5
X VII	36.0	18.0		136		1.6	13	27	149		1.8	163	1.4
X VIII	37.0	19.0		134		1.5	12	39	146		1.6	173	1.3
X IX	37.0	19.0		132		1.4	11	50	143		1.5	182	1.2
X X	39.0	19.0		130		1.3	10	60	140		1.4	190	1.1
X X I	41.0	20.0		128		1.2	9	69	137		1.3	197	1.1
X X II	41.0	21.0		126		1.1	9	78	135		1.2	204	0.9
X X III	42.0	21.0		124		1.1	8	86	132		1.1	210	0.9
X X IV	43.0	22.0		122		1.0	8	94	130		1.1	216	0.8
X X V	44.0	22.0		120		1.0	7	101	127		1.0	221	0.8
X X VI	44.0	22.0		118		0.9	7	108	125		1.0	226	0.8
X X VII	45.0	23.0		116		0.9	7	115	123		0.9	231	0.7
X X VIII	46.0	23.0		114		0.8	6	121	120		0.9	235	0.7
X X IX	46.0	24.0		112		0.8	6	127	118		0.8	239	0.7
X X X	47.0	24.0		110		0.7	6	133	116		0.8	243	0.7

収穫予想表

適用コード： 023

樹種：カラマツ

施業群：（長伐期、人復）以外

適用森林計画区：中部山岳（奈川、奈良井、贊川）、伊那谷、木曽谷

齡級	主 林 木					副 林 木		主 副 林 木 合 計					
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	幹材積 m3	幹材積累計 m3	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	総収穫量 m3	成長率 %
I													
II	7.0	5.0	1,439										
III	10.1	7.9	1,139	39		5.6	2.6	5	5	44	2.9	44	14.0
IV	12.8	10.3	942	67		5.8	3.4	8	13	75	3.8	80	9.6
V	15.0	12.5	800	96		5.8	3.8	10	23	106	4.2	119	7.4
VI	17.0	14.3	696	125		4.8	4.2	12	35	137	4.6	160	5.2
VII	18.6	15.7	618	149		4.0	4.3	12	47	161	4.6	196	4.0
VIII	20.0	17.0	557	169		3.6	4.2	12	59	181	4.5	228	3.3
IX	21.2	18.1	510	187		2.0	4.2	12	71	199	4.4	258	2.2
X	22.4	19.1	471	197		2.0	3.9	12	83	209	4.2	280	2.0
X I	23.3	20.0	440	207		1.4	3.8	11	94	218	4.0	301	1.6
X II	24.2	20.6	414	214		1.0	3.6	10	104	224	3.7	318	1.0
X III	24.8	21.2		219		0.8	3.4	6	110	225	3.5	329	0.7
X IV	25.4	21.7		223		0.4	3.2	4	114	227	3.2	337	0.4
X V	26.0	22.1		225		0.4	3.0	3	117	228	3.0	342	0.3
X VI	26.6	22.5		227		0.2	2.8	1	118	228	2.9	345	0.1
X VII	27.1	23.0		228		0.2	2.7		118	228	2.7	346	0.1
X VIII	27.4	23.2		229		0.2	2.5		118	229	2.5	347	0.1
X IX	27.6	23.4		230		0.2	2.4		118	230	2.4	348	0.1
X X													
X X I													
X X II													
X X III													
X X IV													
X X V													
X X VI													
X X VII													
X X VIII													
X X IX													
X X X													

(注) 二重線以降の齡級については、収穫予想表から推定した数値である。

収穫予想表

適用コード：024

樹種：カラマツ

施業群：長伐期、人複

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷

齡級	主 林 木					副 林 木		主 副 林 木 合 計					
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	幹材積 m3	幹材積累計 m3	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	総収穫量 m3	成長率 %
I													
II	7.0	5.5	1,750	23			3	3					
III	11.4	8.7	1,375	69	8.4	4.6	9	12	78	11.2	5.2	81	12.6
IV	14.3	11.5	1,110	111	8.0	5.6	14	26	125	11.4	6.3	137	8.6
V	16.9	13.9	920	151	6.6	6.0	17	43	168	10.6	6.7	194	6.2
VI	19.2	16.0	770	184	5.4	6.1	20	63	204	10.2	6.8	247	5.0
VII	21.4	17.8	645	211	4.8	6.0	24	87	235	9.4	6.7	298	4.1
VIII	23.4	19.3	550	235	3.6	5.9	23	110	258	8.0	6.5	345	3.2
IX	25.4	20.5	485	253	3.6	5.6	22	132	275	7.6	6.1	385	2.8
X	27.1	21.7	434	271	3.8	5.4	20	152	291	7.2	5.8	423	2.5
X I	28.8	22.6	397	290	3.2	5.3	17	169	307	6.6	5.6	459	2.2
X II	30.4	23.4	365	306	3.0	5.1	17	186	323	6.2	5.4	492	1.9
X III	31.9	24.1	339	321	2.4	4.9	16	202	337	6.0	5.2	523	1.8
X IV	33.4	24.7	317	336	2.2	4.8	15	217	351	5.4	5.0	553	1.6
X V	34.8	25.2	297	348	2.0	4.6	15	232	363	5.0	4.8	580	1.4
X VI	36.1	25.7	280	359	2.0	4.5	14	246	373	4.6	4.7	605	1.2
X VII	37.4	26.0	266	370	1.8	4.4	12	258	382	4.0	4.5	628	1.1
X VIII	38.6	26.3	258	380	1.6	4.2	10	268	390	3.0	4.3	648	0.8
X IX	39.8	26.6	254	390	1.4	4.1	5	273	395	2.6	4.2	663	0.7
X X	40.9	26.8	254	399	1.2	4.0	4	277	403	2.2	4.0	676	0.5
X X I	41.6	27.0		407	1.2	3.9	3	280	410	1.8	3.9	687	0.4
X X II	42.4	27.1		414	1.2	3.8	2	282	416	1.4	3.8	696	0.3
X X III	43.3	27.2		420	1.2	3.7	1	283	421	1.2	3.7	703	0.3
X X IV	43.7	27.2		426	0.8	3.6		283	426	1.2	3.6	709	0.3
X X V	44.2	27.2		432	0.8	3.5		283	432	1.2	3.5	715	0.3
X X VI	44.6	27.2		438	0.8	3.4		283	438	1.2	3.4	721	0.2
X X VII	44.9	27.2		442	0.8	3.3		283	442	0.8	3.3	725	0.2
X X VIII	45.1	27.2		446	0.8	3.2		283	446	0.8	3.2	729	0.2
X X IX	45.2	27.2		450	1.0	3.1		283	450	1.0	3.1	733	0.2
X X X	45.2	27.2		455		3.0		283	455		3.0	738	0.2

(注) 二重線以降の齡級については、収穫予想表から推定した数値である。

収穫予想表

適用コード： 021

樹種：アカマツ

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷

齢級	主 林 木					副 林 木		主 副 林 木 合 計					
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	幹材積 m3	幹材積累計 m3	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	総収穫量 m3	成長率 %
I													
II	2.4	2.8	3,170	14		1.9							
III	5.0	4.8	2,680	28	3.2	2.2		28		3.6	1.9	28	10.4
IV	7.9	6.7	2,130	44	3.2	2.4	2	2	46	5.0	2.3	46	9.4
V	10.9	8.5	1,565	60	3.2	2.5	9	11	69	6.2	2.8	71	8.7
VI	13.6	10.0	1,100	76	3.0	2.6	15	26	91	6.0	3.0	102	6.9
VII	16.2	11.4	815	91	3.0	2.7	15	41	106	5.8	3.0	132	5.7
VIII	18.8	12.7	640	106	3.0	2.7	14	55	120	5.2	3.0	161	4.5
IX	21.0	13.8	545	121	3.0	2.7	11	66	132	4.8	2.9	187	3.7
X	22.9	14.7	478	134	2.6	2.7	11	77	145	4.6	2.9	211	3.2
X I	24.8	15.6	421	147	2.6	2.7	10	87	157	4.4	2.9	234	2.8
X II	26.6	16.4	374	159	2.4	2.7	10	97	169	3.6	2.8	256	2.2
X III	27.9	17.0	350	170	2.2	2.6	7	104	177	3.4	2.7	274	1.9
X IV	29.2	17.6	330	181	2.2	2.6	6	110	187	3.0	2.7	291	1.6
X V	30.0	18.0		191	2.0	2.5	5	115	196	2.8	2.6	306	1.4
X VI	31.0	19.0		201	2.0	2.5	4	119	205	2.4	2.6	320	1.2
X VII	32.0	19.0		210	1.8	2.5	3	122	213	1.8	2.5	332	0.8
X VIII	33.0	20.0		217	1.4	2.4	2	124	219	1.2	2.4	341	0.5
X IX	34.0	20.0		222	1.0	2.3	1	125	223	0.8	2.3	347	0.4
X X	34.0	20.0		226	0.8	2.3		125	226	0.4	2.3	351	0.2
X X I	35.0	21.0		228	0.4	2.2		125	228		2.2	353	
X X II													
X X III													
X X IV													
X X V													
X X VI													
X X VII													
X X VIII													
X X IX													
X X X													

(注) 二重線以降の齢級については、収穫予想表から推定した数値である。

収穫予想表

適用コード： 032

樹種：その他針葉樹

施業群：指定なし

適用森林計画区：千曲川下流、中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷

齢級	主 林 木					副 林 木		主 副 林 木 合 計					
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	幹材積 m3	幹材積累計 m3	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	総収穫量 m3	成長率 %
I													
II													
III													
IV	5.3	3.6	2,760	27	3.0	1.4		27	3.4	1.4	27		10.3
V	7.8	4.4	2,400	42	3.4	1.7	2	44	4.2	1.8	44		8.4
VI	9.4	5.5	2,100	59	4.0	2.0	4	63	5.2	2.1	65		7.6
VII	11.0	6.7	1,840	79	4.4	2.3	6	85	5.8	2.4	91		6.5
VIII	12.5	8.0	1,630	101	4.8	2.5	7	108	6.2	2.7	120		5.5
IX	14.3	9.1	1,430	125	4.6	2.8	7	132	6.4	2.9	151		4.7
X	16.1	10.2	1,270	148	4.4	3.0	9	157	6.4	3.1	183		4.0
X I	17.7	11.1	1,130	170	4.2	3.1	10	180	6.4	3.3	215		3.5
X II	19.2	12.0	1,020	191	4.2	3.2	11	202	6.4	3.4	247		3.1
X III	20.7	12.7	910	212	4.0	3.3	11	223	6.4	3.4	279		2.9
X IV	22.3	13.3	820	232	3.6	3.3	12	244	6.2	3.5	311		2.5
X V	23.7	13.9	740	250	3.2	3.3	13	263	5.8	3.5	342		2.2
X VI	25.0	14.5	660	266	2.8	3.3	13	279	5.2	3.5	371		1.9
X VII	26.0	15.0		280	2.4	3.3	12	292	4.6	3.4	397		1.6
X VIII	27.0	16.0		292	2.2	3.2	11	303	4.2	3.4	420		1.4
X IX	28.0	16.0		303	1.8	3.2	10	313	3.6	3.3	441		1.2
X X	29.0	16.0		312	1.6	3.1	9	321	3.2	3.2	459		1.0
X X I	30.0	17.0		320	1.4	3.0	8	328	2.8	3.1	475		0.9
X X II	31.0	17.0		327	1.0	3.0	7	334	2.2	3.0	489		0.7
X X III	31.0	17.0		332	1.0	2.9	6	338	2.0	2.9	500		0.6
X X IV	32.0	18.0		337	0.8	2.8	5	342	1.6	2.9	510		0.5
X X V	32.0	18.0		341	0.6	2.7	4	345	1.2	2.8	518		0.3
X X VI	33.0	18.0		344	0.4	2.6	3	347	1.2	2.7	524		0.3
X X VII	34.0	18.0		347	0.6	2.6	3	350	0.8	2.6	530		0.2
X X VIII	34.0	18.0		349	0.6	2.5	2	351	0.8	2.5	534		0.2
X X IX	34.0	18.0		352	0.4	2.4	1	353	0.6	2.4	538		0.2
X X X	34.0	18.0		354		2.4	1	355		2.4	541		0.2

(注) 二重線以降の齢級については、収穫予想表から推定した数値である。

収穫予想表

適用コード： 042

樹種：広葉樹

施業群：指定なし

適用森林計画区：中部山岳、千曲川上流、伊那谷、木曽谷

齡級	主林木					副林木		主副林木合計						
	胸高直徑 cm	樹高 m	本数 本	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	幹材積 m3	幹材積累計 m3	幹材積 m3	連年成長量 m3	平均成長量 m3	総収穫量 m3	成長率 %	
I														
II														
III														
IV	7.0	6.4	2,150	25		2.0	1.3	5	5	30	3.2	1.5	30	10.4
V	8.3	7.7	1,600	35		2.4	1.4	6	11	41	4.2	1.6	46	9.9
VI	9.8	9.7	1,215	47		2.4	1.6	9	20	56	4.2	1.9	67	7.7
VII	11.6	11.1	970	59		2.4	1.7	9	29	68	9.0	1.9	88	6.5
VIII	13.4	12.4	810	71		2.6	1.8	10	39	81	4.6	2.0	110	5.8
IX	15.2	13.2	700	84		3.2	1.9	10	49	94	5.2	2.1	133	5.5
X	17.0	14.8	615	100		3.0	2.0	10	59	110	5.0	2.2	159	4.6
X I	18.7	15.9	540	115		2.4	2.1	10	69	125	4.6	2.3	184	3.7
X II	20.4	17.0	480	127		2.2	2.1	11	80	138	4.4	2.3	207	3.2
X III	21.9	17.8	430	138		2.2	2.1	11	91	149	4.4	2.3	229	3.0
X IV	23.6	18.6	390	149		1.8	2.1	11	102	160	4.2	2.3	251	2.7
X V	25.2	19.3	350	158		2.0	2.1	12	114	170	4.2	2.3	272	2.5
X VI	26.8	20.0	320	168		1.6	2.1	11	125	179	3.6	2.2	293	2.1
X VII	28.0	21.0		176		1.6	2.1	10	135	186	3.6	2.2	311	2.0
X VIII	29.0	21.0		184		1.2	2.0	10	145	194	3.2	2.2	329	1.7
X IX	30.0	22.0		190		1.0	2.0	10	155	200	3.0	2.1	345	1.5
X X	31.0	22.0		195		1.0	2.0	10	165	205	2.8	2.1	360	1.4
X X I	32.0	23.0		200		1.2	1.9	9	174	209	2.6	2.0	374	1.3
X X II	32.0	23.0		206		0.8	1.9	7	181	213	2.0	1.9	387	1.0
X X III	33.0	23.0		210		0.6	1.8	6	187	216	1.4	1.9	397	0.7
X X IV	34.0	24.0		213		0.6	1.8	4	191	217	1.2	1.8	404	0.6
X X V	34.0	24.0		216		0.4	1.7	3	194	219	0.8	1.8	410	0.4
X X VI	34.0	24.0		218		0.4	1.7	2	196	220	0.6	1.7	414	0.3
X X VII	35.0	24.0		220		0.4	1.6	1	197	221	0.4	1.6	417	0.2
X X VIII	35.0	24.0		222		0.2	1.6		197	222	0.2	1.6	419	0.1
X X IX	35.0	25.0		223		0.2	1.5		197	223	0.2	1.5	420	0.1
X X X	35.0	25.0		224		0.2	1.5		197	224	0.2	1.5	421	0.1

(注) 二重線以降の齡級については、収穫予想表から推定した数値である。